

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：指導課

シート No.：46

作成日：2026.6/3

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標		
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる			・ 様々な理由により義務教育を修了できなかった方や、不登校等のためにほとんど学校に通えなかった方、また本国で義務教育を修了していない外国籍の方などが学ぶ学校の必要性がある。 ・ 不登校児童生徒の増加は大きな社会問題となっている。このような社会背景に鑑み、不登校の未然防止、早期発見につながる取組を推進していく必要がある。	・ 中学校の就学年齢を超えた方で中学校を卒業していない方、または中学校を卒業した方で不登校等の理由により、学習する機会が十分でなかった方に対して、夜間に中学校教育を施すことで義務教育を受ける機会を保障する。 ・ 学校や不登校の兆候のある児童生徒及び保護者に対して、常総市適応指導教室「かしのきスクール」が積極的にアプローチし、学校復帰、社会的自立に向けた支援を充実させる。
	施策	1 学校教育				
	施策内容	特色ある教育の推進				
	その他、根拠法令及び分野別計画等	学校教育法、学習指導要領、常総市教育大綱				
事務事業名	特色ある教育の推進					

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 7 予算額	R 7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 7 活動・事業内容	指標（単位）	R 7 目標値	R 8 目標値		
			R 7 実績値	R 9 目標値		
入学希望者説明会 （R 7・8・9）	水海道中学校夜間学級について希望者に説明会を開催し、理解を図ります。	参加人数	6 0 人	6 0 人	0 千円	0 千円
			5 0 人	6 0 人		
適応指導教室事業 （R 7・8・9）	適応指導教室内外での支援を充実させ、不登校への早期対応、未然防止を図ります。	訪問等による支援回数	5 0	1 2 5	12, 792 千円	12, 124 千円
			6 8	1 5 0		
放課後補習教室事業 （R 7・8・9）	市内5小学校と2施設に開室し、児童の学習の支援を行います。	利用人数	1 5 0 人	1 5 0 人	8, 349 千円	7, 870 千円
			1 3 3 人	1 5 0 人		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 7 実績値
夜間学級で学ぶことが楽しいと思っている生徒の割合	1 0 0 %	1 0 0 %
不登校発生件数の減少	前年より－2 0 人	前年より＋2 1 人
ほっとスタディ教室において学習習慣が定着した割合	9 0 %	7 2 %

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
水海道中学校夜間学級に在籍している生徒は全員が学ぶことが楽しいと思っており、授業等において積極的に取り組んでいる様子が見られた。入学希望者説明会や入学に係る面接にも多くの参加者があり、夜間学級に入学を希望している生徒数も増加している。 不登校発生件数に関しては、昨年度よりも2 1 名多く、中学1年生が顕著であった。中1ギャップ解消に向けた取組の充実が重要となる。	☐ コスト	☒ 活動	☒ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	不登校児童生徒の発生件数については、中1ギャップの解消に向けて、指導課事業として入学後すぐにオリエンテーションキャンプを実施し、交流活動の充実を図る。また、各中学校においても、レクリエーションや学級活動等において絆づくりを行い、学校に登校しやすい雰囲気をつくっていくための指導助言を行う。 ほっとスタディ教室での学習習慣の定着を図れるよう、指導員の先生方と連携を図り、学習支援の在り方の共有を図る。			